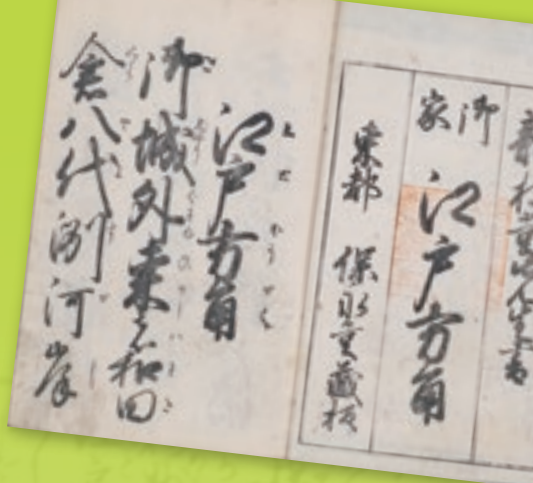


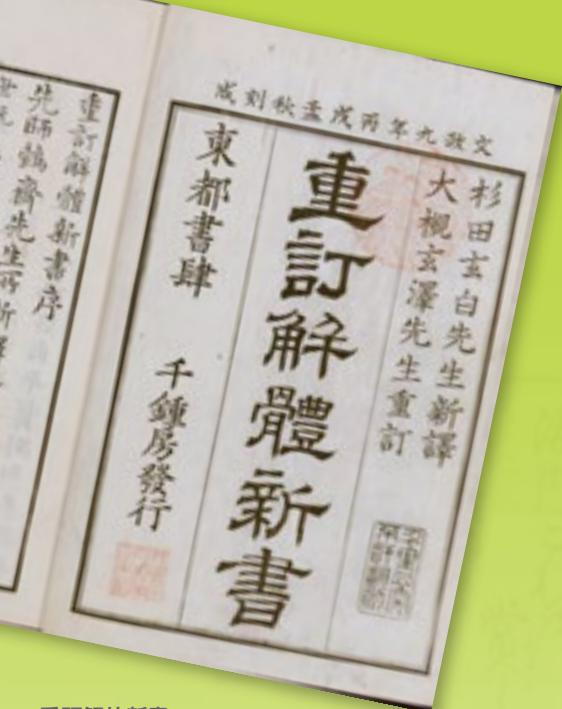
港区立郷土歴史館 企画展

江戸の本

—本からひもとく人びとの営み—



御家 江戸方角 江戸時代



重訂解體新書 文政9(1826)年



安政見聞録 安政3(1856)年

令和6(2024)年
4月27日(土)
~6月30日(日)



康熙字典 文久3(1863)年



芝神明町の地本問屋
[東海道名所図会 寛政9(1797)年より]

江戸の本

一本からひとく人びとの営み

江戸時代は庶民も本を読むことができるようになった時代でした。それまで権力者のもとで行ってきた出版を江戸時代初期に民間で担い始めると、次第に庶民向けの本が出版されます。港区域でも芝神明町(現在の芝大門一丁目)などに学問的な本を取り扱う書物問屋や娯楽目的の本を取り扱う地本問屋ができました。

流通した本は多様で、文字を学ぶ教科書の役割をした本をはじめ、生活に必要な実用書や専門書、名所の案内書、大衆向けの小説などが刊行されました。また、入手が難しい本などは筆写され、写本で広まったものもあります。

展示では当館の収蔵資料の中から、江戸時代に刊行、筆写された本を紹介し、当時の人びとの営みをひもときます。

江戸の名所案内書



絵本江戸土産 江戸時代
名所を紹介、虎ノ門の江戸見坂は江戸を一望できた

日本で最初の解剖学書



女性向けの生活実用書

重訂解体新書

文政9(1826)年

区内に墓がある港区ゆかりの人物、杉田玄白が翻訳した医学書の重訂版

戦国時代の体験談集



雑兵物語 江戸時代

雑兵30人が語る形式で下級武士の戦場での心得を紹介

女諸礼集 貞享5(1688)年

年中行事や婚礼、産育などの礼儀作法を解説、道具の使い方も説明

幕末の英語入門書



商帖外和通韻便宝 安政7(1860)年

基本的な英和単語の対応表、幕末当時の西洋と日本の時刻表記の違いも解説

表面の資料：御家 江戸方角 江戸の地理と同時に文字も学べる教科書、手習いの手本 安政見聞録 安政2(1855)年の大地震の災害体験談集、教訓的な話が多い
東海道名所図会 京都から江戸までの東海道の名所案内書、芝神明町の地本問屋の賑わいも紹介

観覧料

企画展のみ 大人 200円(160円) 小・中・高校生 100円(80円)
常設展セット 大人 400円(320円) 小・中・高校生 100円(80円)

※()内は10名以上の団体料金

※港区在住・在学の小・中・高校生、港区在住の65歳以上の方、港区在住の障害者とその介助者(1名)の観覧料は無料(証明ができるものをご持参ください)

※5月5日(日・祝)は港区民無料公開日(港区在住の証明ができるものをご持参ください)

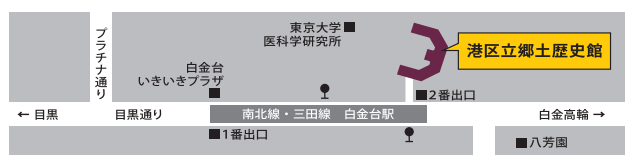
開館時間 午前9時～午後5時(土曜日のみ午後8時まで)

※入館受付は閉館の30分前まで

会期中休館日 5月16日(木)・6月20日(木)

港区立郷土歴史館

〒108-0071 東京都港区白金台 4-6-2 ゆかしの杜内 電話 03-6450-2107 minato-rekishi.com



●東京メトロ南北線・都営三田線 白金台駅 2番出口 徒歩1分
●都営バス・東急バス 白金台駅前停留所 徒歩1分

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

